

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年10月13日(2005.10.13)

【公開番号】特開2003-66861(P2003-66861A)

【公開日】平成15年3月5日(2003.3.5)

【出願番号】特願2002-174300(P2002-174300)

【国際特許分類第7版】

G 09 F 9/00

G 02 F 1/1345

【F I】

G 09 F 9/00 3 4 8 Z

G 09 F 9/00 3 3 8

G 02 F 1/1345

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月10日(2005.6.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ガラス基板上の所定領域に形成された表示部と、  
前記ガラス基板上にランドを有して形成された透明電極と、  
前記所定領域以外の前記ガラス基板上に実装された回路部品と、を備え、  
前記回路部品の端子と前記ランドが導電ペーストにより電気的に接続されたことを特徴とする表示装置。

【請求項2】

前記ランドと前記回路部品の端子の間に隙間が形成されるよう、前記回路部品はガラス基板上に設けられた絶縁性の被覆膜上に載置されており、前記隙間に前記導電ペーストが設けられたことを特徴とする請求項1に記載の表示装置。

【請求項3】

前記被覆膜が接着性を備えることを特徴とする請求項2に記載の表示装置。

【請求項4】

回路部品が実装されたガラス基板を含んで構成された表示装置の製造方法において、  
表示素子を構成するガラス基板にランドを有する透明電極を形成する工程と、  
前記ランドが露出するように絶縁性の被覆膜を形成する工程と、  
前記ランドの露出部に導電ペーストを供給する工程と、  
前記導電ペースト上に前記回路部品の端子がくるように前記回路部品を配置して、前記透明電極と前記回路部品の端子を電気的に接続する工程と、を備えることを特徴とする表示装置の製造方法。

【請求項5】

前記ランドと前記回路部品の端子の間に隙間が形成されるように、前記被覆膜は前記回路部品を載置する部位に形成され、

前記隙間に前記導電ペーストが供給されることを特徴とする請求項4に記載の表示装置の製造方法。